

議会だより



りゅうおう

No.171

2015年5月1日

滋賀県竜王町議会



私が描く
僕が創る
竜王町
次の60年へ



3月
定例会

年度予算を決定

今年は竜王町制60周年・ 地方創生元年の節目！

平成27年第1回定例会は、3月2日から23日までの22日間の会期で開かれました。

提出された議案は、平成27年度予算8件、条例関係32件、平成26年度補正予算7件、その他1件の合計48議案でした。

平成27年度の一般会計は、61億700万円となり前年度当初予算額より1800万円(0.3%)の減少です。

平成27年度一般会計・特別会計の当初予算は、予算第1・第2特別委員会を設置し集中審議を行いました。

予算委員会ではどんな議論がされたのか？

問 町内企業の法人住民税の税収見込みはどうか。

答 先の税制改正等の要因により前年度当初予算に対して1億円(13.7%)減と見込んだ。

問 公共施設等総合管理計画策定の経費が見込まれているが、計画策定の対象となる施設はどこまでの範囲か。

答 道路・下水道など含めた町の公共施設すべてである。

問 土産土法ビジネスサポート事業の内容と推進方法は。

答 地の物を竜王ならではの創意工夫で付加価値をつける考えにもとづき、特産品の産地育成、環境に配慮した栽培など関係機関と協議をし、支援メニューを考える。

問 県道綾戸東川線の歩道の拡幅計画はあるのか。

答 県にて平成27年度に用地の測量をしてもらう予定である。

問 介護予防教室への参加者が少なくなっているが、どのような対策を講じて介護費や医療費の軽減を図るのか。

答 各字老人会を訪問するなど、様々な機会を通じて啓発する。

問 町内の公共下水道の普及状況は。

答 現在では84.8%で、当面の目標として85.5%まで普及拡大を図る。

主な意見

❖ 厳しい財政事情の中で編成された予算であることから、より適正かつ有効な執行と健全な財政運営に努められたい。

❖ 介護予防事業の拡充は介護給付費、医療費の抑制効果はもちろん町財政にも影響することから、効果的な事業展開を望む。

平成27



多面的機能支払交付金事業

5,244 万 6 千円

農業・農村の多面的機能の発揮のために、
地域活動等に対して支援をします。



竜王インター周辺地区整備事業

8 億 5,190 万円

竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、
工業団地や物流拠点へのアクセス道路の
整備などを行います。

ふるさと竜王 夏まつり事業

250 万円

町制60周年 記念事業

203 万 4 千円



地域おこし協力隊事業

815 万 5 千円

地域の活性化に意欲のある都市住民を受け入れ、
観光振興等を創造するとともに、
定住・定着を図ります。



妹背の里管理運営事業

4,236 万 2 千円

施設指定管理料および
屋根修繕工事

小学校教育用 コンピュータ整備事業

1,204 万 1 千円



竜王幼稚園施設整備事業

2,996 万 2 千円

古くなった便所の改修工事を
行います。



防災基盤整備事業

4,543 万 2 千円

建設予定の(仮称)竜王消防出張所および
竜王町地域防災拠点施設の
造成工事開始

放課後児童クラブ 開所時間延長支援事業

307 万 8 千円

条例の制定・一部改正など

今定例会では、条例制定3件、一部改正28件、廃止1件の合計32件が提出され、すべて原案通り可決されました。主な条例改正は次のとおりです。

【概要】平成27年4月1日より、「住民税務課」を「住民課」と「税務課」に分けるとともに町長部局の3つの主監を「総務主監」として一本化する。

問 住民福祉部門は現在でも4つの課が4か所に分かれている。住民福祉主監がなくなると、今まで以上に連携が取りにくくなるのではないか。

答 課同士の情報共有はできています。基本的には各課を中心に事務等を進めていくことになり、各課長にしっかりとやってもらい、総務主監が舵を取っていきます。

一部改正 竜王町課設置条例



4月から住民課と税務課に

一部改正 竜王町都市公園条例



自動販売機が設置されたレストハウス（4月）

【概要】消費税率の引上げなどに対応するため、また、利用実態に合わせるため、ドラゴンハットや体育館、プールなどの使用料の一部を改正する。

問 売店食堂（レストハウス）の営業が3月で終了すると聞いているが、今後の対応について。

答 あえんぼグループが高齢化などの理由により業務が受託できなくなった。今後は、自動販売機を設置して対応する。

👍 そのほか、公民館、妹背の里、勤労福祉会館などの施設についても同様に使用料の一部が改正されました。

【概要】第6期介護保険事業計画期間中における第1号被保険者の負担する介護保険料を現行第5期の基準額3,920円から5,600円に改定する。

問 現行の3,920円は県下で一番低かったが、次期の5,600円はどの位置にあるのか。

答 県下の平均は5,492円。一番高いのは6,100円台、一番低いのは4,900円台。

問 本年4月1日施行だが、周知期間がないのにどのように周知するのか。

答 広報やリーフレット等で周知するとともに各自治会・老人会などを通じて説明する。

一部改正 竜王町介護保険条例



介護予防のための体操をする高齢者

常任委員会の活動

総務産業建設常任委員会

調査

小口地先町有地 2/16
(物流拠点施設が進出か)



町有地 (小口)

- 問** 不動産鑑定は2者とするのか。
答 町と事業者でそれぞれ鑑定します。
問 竜王インター周辺での開発になるが交通量への影響は。
答 開発申請が出されれば、公安委員会とも協議します。

調査

上下水道料金等包括業務委託 (評価と効果について) 3/6



検針員の用具 (左がハンディターミナル)

- 受託者と聞き取り・調整等を随時行い、定例会議等で課題、目標をクリア出来るよう改善しています。
 ● 検針業務はハンディターミナルの使用により、きめ細かい対応が可能になり好評です。
問 検針員は何名いるのか。
答 20名から8名になりました。

審査

平成26年度竜王町一般会計補正予算(第7号) 4億946万円の減額 3/6

- 問** 当初予算に対して未執行や執行残額のあったもの等について、減額補正されるがその基準はあるのか。
答 基準はありませんが、明らかに執行を終えたものや不用となったものについては減額補正しました。
問 橋梁点検調査業務について、橋梁長寿命化修繕実施設計委託料からの予算が組み替えられた理由は？
答 橋梁点検を81橋予定していましたが、2m以上のボックスカルバートも点検対象になり、117橋の点検が必要になったため、組み替えをしたものです。
問 環境保全型農業支援事業補助金が減額されているが。
答 取り組み面積は増えていますが、単価の低いものを取り組んだので執行残が生じたものです。



高橋(須恵)

教育民生常任委員会

調査

子ども子育て支援新制度 2/24

- 現状の私立保育園 2 園、公立幼稚園 2 園体制で当分の間対応します。
- 現在、他市町より低い保育料・預かり保育料はそのまま堅持し負担軽減を図ります。

問 平成27年度は待機児童が生じたのか。

答 ひまわり・コスモス両保育園の定員枠を32人拡げてもらったが、保育士の確保が厳しく不承諾が18人出ました。



こどもひろば「すくすく」

調査

いきいき竜王長寿プラン 2/24
～竜王町高齢者保健福祉計画2015改訂版

- 本計画は、老人福祉法に基づく市町村老人計画と、介護保険法に基づく市町村介護保険事業計画です。平成24年に策定された「いきいき竜王長寿プラン～竜王町高齢者保健福祉計画2012改訂版」が完了年度を迎えたため、見直しを行い、2015改訂版が平成27年2月に定められました。

調査

小規模多機能「山かがみ」の現場視察 3/9

- 3月30日オープン
- 県下で46番目、竜王町では初めての小規模多機能型居宅介護事業所
- 小規模多機能型居宅介護とは、いつまでも住み慣れた自宅で、住み慣れた地域の中で、最期まで暮らし続けたいという願いに応えるための介護サービスです。この事業所は利用登録人数が25人までで、通い（デイサービス）、訪問（ホームヘルプサービス）、泊まり（ショートステイ）の3種類のサービスを組み合わせて利用者の生活を支援するものです。

小規模多機能「山かがみ」

事業者：社会福祉法人 雪野会

住所：鏡 587-2（旧鏡分教場跡地）



審査

平成26年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第3号)
6,686万1千円の減額 3/9

- 第1号被保険者数の増加などを踏まえて保険給付の伸びを予測したものの介護認定者数は横ばいになったことや、居宅介護サービスの給付が伸びなかった等見込みとの差が出たため減額するものです。

特別委員会の活動

地域活性化特別委員会

視察

岡山県総社市の企業誘致のための取り組み 1/23

● 総社市は、岡山市・倉敷市に隣接し、内陸型工業都市として発展してきた。自動車関連工場が主力であったが、自動車関連以外にも業種の幅を広げることによって地域経済を安定させる必要があったため、豊富な伏流水や西日本全体をカバーできる拠点の優位性など総社市の持つ「地の利」を生かせる食品製造業や流通業などの誘致に取り組まれた。



調査

(株)雪国まいたけの動向 2/25

問 平成26年12月末までに(株)雪国まいたけからの具体的な計画も示されず、今なお同じ状態か。

答 2月20日に面談し、具体的な回答を強く要請しました。

調査

工業団地の進捗状況 2/25・3/17

滋賀竜王工業団地の初の土地売買予約契約者が3号区画に決定し、契約を3月23日に予定している。

滋賀県土地開発公社との調印(3月23日)の内容

- 東証1部上場の電機メーカー(東洋電機製造株)
- 新幹線や在来線、地下鉄等向けの主制御装置やモーター、パンタグラフ等の開発設計製造業
- 敷地面積 34,400㎡(3号区画)



東洋電機製造(株)のHP

議会基本条例推進特別委員会

検討

「たつの子議会」への準備 1/9・1/14・1/30・2/8・3/15・3/21

実施要項を作成し、子ども議員の選出依頼等をするとともに、その後、愛荘町子ども議会を傍聴研修し準備を進めていきました。

2月8日には子ども議員に町長より任命証書が授与され、議員との事前学習会を実施しました。

3月15日には本会議場で執行部答弁は除き、本番さながらのリハーサルを行い3月21日を迎えました。



たつの子議会の様子はこちら!

子どもたちから竜王町への提言！

3月21日、役場議会議場で開催、小学生6人、中学生6人が登壇し、まちづくりへの提言を堂々と発表！

※学校名と学年は3月現在です

自然と歴史を大切にしたいまちづくり



竜王小6年生
ふじた みゆ
藤田 実優 議員

問 町では、大きな開発が進み、便利で住みやすくなりましたが、開発することと自然や文化を守ることが同じように進んでほしいと思います。20年後の竜王町の、考えや見通しを教えてください。

答 開発するところ、残すところなどを決めて、計画的に整備を行っています。20年後はインターチェンジ、役場や集落の周辺に住宅地や施設を整備する計画です。

近隣駅までの安全確保を



竜王中2年生
さはし かなた
佐橋 果南汰 議員

問 野洲駅まで通うバスに朝の便がなく、篠原駅までの道は、夜間暗くて危ないと聞いています。今、この駅を利用している高校生や未来の僕達に大きくかわってくる問題だと思います。近隣駅までのバス便や安全確保についてどう対応されるか伺います。

答 公共交通のあり方と駅までの交通対策・防犯対策について関係する市や機関と協議し、検討します。

竜王町のスポーツ振興について



竜王中2年生
こがぶ きよめ
古株 結女 議員

問 スポーツ少年団にあるバレーボールや柔道、剣道、また野球など部活にない種目もあります。「生涯スポーツ」が大切だと言われていますが、小学校からずっと続けられるスポーツの環境作りについて伺います。

答 地域全体で子どもたちのスポーツ活動を支えていくため、まずは指導者を確保し、継続して指導のできる種目から取り組みを進めていきたいと考えています。

竜王町西部地域の開発計画は



竜王中2年生
やまぐち うたの
山口 詩乃 議員

問 アウトレットパークや総合運動公園に併せて映画館などの文化施設の誘致やコンサートなどの文化的活動などを積極的に進めてほしいと思います。今後の竜王町西部地域の開発計画について伺います。

答 当町にとっては、交通の要所であることが最大のメリットです、この立地を活かして、訪れる人、暮らす人の交流が生まれる開発になるよう進めます。

通学路の安全について



竜王小6年生
のだ しゅうせい
野田 秋星 議員

問 通学路には、歩道がない、街灯が暗いなど安全が確保されていないところがあります。また、田んぼの中の農道を通っている人は大雨や雷のときに危険です。緊急避難できる小屋などをつくってほしいです。町の考え方や方向性をお聞かせください。

答 県や警察、地域の方と協力しながら通学路の安全確保を進めます。通学路の点検を行い、街灯設置の検討をしますが、歩道と緊急避難所は難しい状況です。

竜王町の特産品について



竜王西小6年生
はやかわ かずき
早川 和希 議員

問 最近、滋賀県で開発された「みずかがみ」はお米の最高ランクに認定され、時々報道もされています。アウトレットや道の駅、アグリパークなどでの販売やイベントでのアピールができれば、利益につながると思いますが。

答 「みずかがみ」は県知事を筆頭に竜王町も含めた市町が県内外に販売促進活動を行っています。27年度は栽培面積を県全体で2倍に増やし、ブランド確立を目指します。

竜王町「たつの子議会」

全国的に問題になっている 少子高齢化の対策は



竜王西小6年生
むらち ほのか
村地 穂乃果 議員

問 西小の児童数は昭和63年は418名でしたが、今は276名です。少子高齢化が進めば医療業界での人手不足、介護の負担増など深刻なダメージとなります。少子化と高齢化の2つの対策を同時に進めていかなければならないと考えますが、町の対策は？

答 高齢化対策と少子化対策の両面から様々な取り組みをしていますが、少子高齢化のスピードがゆるやかになり健康で活力のあるまちとなるため、引き続き努力します。

竜王町の交通網の整備について



竜王中2年生
まの もえ
眞野 萌 議員

問 今後、鉄道の計画がありますか。バス交通については、近江八幡市では、あかこんバスが市内を循環していますが竜王町でも走らせてほしいです。また、料金を下げて多くの人が利用できるようにしてほしいです。町の考えは？

答 現時点では、竜王町を通過する鉄道整備の構想はありません。また、今あるバスを多く利用していただくことで、バス路線が存続でき、増便や運賃が安くなることにもつながります。

中学校グラウンドおよび テニスコートの改修計画は



竜王中2年生
ふるさわ ななほ
古澤 菜々穂 議員

問 グラウンドは水はけや土の状態が運動に適しておらず、輝竜祭体育の部もドラゴンハットで開催しています。テニスコートも同様に状態が悪く、コート整備に時間を取られ十分に練習ができません。また、大会はほとんどがオムニコートです。改修の実現は？

答 できるだけ早い時期に改修したいと考えています。国などの補助金の活用を視野に入れて、検討を進めていきます。

歩道の設置について



竜王小6年生
とみた みやび
冨田 雅美 議員

問 町では道路は毎年のように修理されていますが、歩道は新しく作られたり修理されたりしていないように思います。

安全に安心して通ることができるため、歩道の設置についての対策を伺います。

答 限られた予算の中で、すべての道路に歩道を設置することはできませんが、現在、新しい道路をつくるときは歩道も一緒に設置しています。

竜王町の産業振興について



竜王中2年生
こもり ふうた
小森 楓汰 議員

問 竜王町を支える産業や企業、職場の状況について、①岡屋の工業団地の進捗状況および誘致する企業の状況は②今後の農業のあり方、農業経営の方向性は③商業施設等の誘致計画の有無は

答 ①町も県、県土地開発公社と一緒に工業団地をPRし、現在、7区画中一つの区画への企業の立地が決まりました。②若い方々の農業への参入と栽培作物の種類を春夏秋冬と時期も含めて広げることが重要です。③現時点では、新たな商業施設の誘致予定はありません。

西小学校の体育館の修復を



竜王西小6年生
あおき りょうや
青木 亮矢 議員

問 西小体育館は、床や壁の木の板がひどくはがれていたり、天井が雨漏りしたりするなどの問題が発生しています。体育館は授業をしたり遊んだりするための重要な場所です。また、災害時には避難所にもなります。早急に修復に取り組む必要があると思いますが。

答 昨年に部分的には補修していますが、引き続き対応していきます。昭和62年完成から28年が経過し、今後は全体的な改修工事が必要になりますが、その場合は約1億円の費用が必要であると考えております。

あなたの声を 市政に

3月定例会で9人が一般質問を行いました。

ページ	質 問 事 項	質 問 者
10	1. 町内の住宅整備の取り組み状況について	岡山 富男
11	1. 竜王農業の強化施策について 2. 第五次総合計画の進捗状況について	小森 重剛
12	1. 災害予防計画の訓練・避難場所について 1. 町イベント事業に対する補助交付金のあり方について	古株 克彦 貴多 正幸
13	1. 青年団の組織・事業の支援と青年団事務所の更新について 1. 特養「万葉の里」前の交差点をラウンドアバウトに	松浦 博 山田 義明
14	1. (仮称) 集落自治会地域活性化事業について 2. 地域おこし協力隊の募集状況と今後の対応について 3. 竜王町地域福祉計画の進捗状況について 4. 竜王町独自の外出移動支援策について	内山 英作
15	1. 青少年の健全育成について 2. 図書館の利用状況について 1. 町道認定の見直しについて	竹山 兵司 菱田 三男

質
問
席

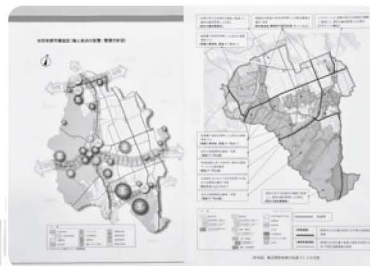
問 町内の 住宅整備の取り組み状況は

答 調査経費を計上



岡山 富男 議員

土地利用計画図



町内企業の若者との懇談会でも住宅の要望の声が..

問 町長は、「住宅整備、これがやはり喫緊の課題であり、一番重要だと認識している。それに伴い、山之上地区の集合団地を具体化していきたい。」とされているが、現在の山之上地区の集合団地整備の進捗状況は。

答 山之上地区として、町の「都市再生整備計画」および「社会資本総合整備計画」の計画変更協議を国と行い、国交付金対象事業として決定していただいたので、平成27年度予算案において、住宅地整備に必要な道路整備に向けた調査経費を計上している。



小森 重剛 議員

問 竜王農業の強化施策は

答 営農関係者の声を聞き
県・国へ鋭意働きかけていく



水田野菜(キャベツ)の収穫 薬師地先

問 基幹産業である農業については、第五次竜王町総合計画の基本計画にある、

問 採算ベースに合わない昨今の農業事情であるが、竜王町の基幹産業である農業を、どの様に持続可能な農業に方向づけしようと考えられているのか。

- ① 農業者の確保・育成
② 組織的農業への支援
③ 農畜産物のブランド化
④ 生産物の販路拡大
⑤ 農村環境の整備

また、6次産業化によって、竜王町の農産品に「メイドイン竜王」としての付加価値をつけ、町としてどの様に活性化し、確立して行こうとされているのか。

問 第五次竜王町総合計画の基本計画の前期5力年が、平成27年度で終了するが、基本計画および実施計画の進捗状況について伺う。

「まち・ひと・しごと創生法」とは
ま ち：国民1人1人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成
ひ と：地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保
しごと：地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

以上を一体的にすすめ、地域ごとの地方版総合戦略を策定し、PDCAサイクルによる検証を行いながら総合的かつ計画的に実施するものです。



近江うし丸

厳しく評価する

問 第五次総合計画の

進捗状況は

答 人口ビジョンについては

答 平成23年度から平成27年度にかけて48の基本施策からなる前期基本目標基本計画と5つの重点分野からなる前期重点プロジェクト基本計画と3つの人口戦略に基づき施策を展開する。

ながら、限られた財源の下で事業展開を行いある程度の評価はできると考える。

しかし、人口ビジョンについては道半ばの段階であり、厳しく評価していかなければならない。

問 安全な1次避難場所を

答 予算化に取り組む



古株 克彦 議員

①防災知識の普及や訓練の具体的な指導が必要ではないか。
②1次避難場所については住民の人口の割に手狭な所があるが、その対応は。

答 ①自助・共助の地域住民による自主防災活動の推進体制の充実を図るため、町消防防災推進員を配置し、各自主防災組織への防災教育や訓練指導等の具体的な指導に加え、さらには各区防災リーダーの育成を行うなど可能な限りのサポートを行う。

②今回の町防災計画では、各区1箇所の避難所を風水害時と地震時



1次避難場所の公園(松が丘)

に細分化した。風水害時の避難場所については32箇所を46箇所に追加。しかし、世帯数の多い自治会では避難所のスペースの確保や避難場所としての整備が十分でない地区もある。今後関係自治区との調整を図りながら、予算化に向けた取り組みを行う。

問 町イベント事業に対する補助金交付のあり方について

答 効果と成果をしっかりと検証する



貴多 正幸 議員



答 「自助」「共助」「公助」の考えに基づき、住民との協働によってこそ将来にわたって持続可能なまちづくりが実現できるものであると考える。

この節目の年を町民皆様と共有し、かつ、これらの各イベント事業に係る補助金の執行を含めた本町各施策の実施におい

問 平成27年度は町制60周年という記念すべき年であるが、現在隔年の開催となっている夏まつり、ドラゴンピック、文化祭の開催のあり方についてどのように考えているのか伺う。



ふるさと竜王夏まつり

で、これからの社会情勢に対応する開催方法の検討に向けて、町行政が求められるべき役割を果たしていきたい。

問 青年団活動への支援と 団室の更新は

答 青年団は竜王町の貴重な財産！

町の人口問題対策にとって優先順位の高い課題、重要施策として進める。



松浦 博 議員



老朽化が著しい青年団事務所(通称:団室)

問 団員自らの活動や経験は明日の「まちづくり」を担う人づくりにつながり、多くの青年団ＯＢの方々が町内で活躍されている。青年団員は仕事や授業が終わってから、限られた時間での活動となり、自由に使える拠点が必要。

答 「まちづくり」の中心となる人づくりとして、青年団と協議を続けながら、支援を継続する。また、教育委員会などを通じて、団への理解を深める。

青年団団室については、建築後40年以上経過し、老朽化が激しく耐震補強対策を進めていける施設ではないと認識している。現施設については室内照明灯具の点検修繕などはするが、長期的には利用できないのではない。



山田 義明 議員

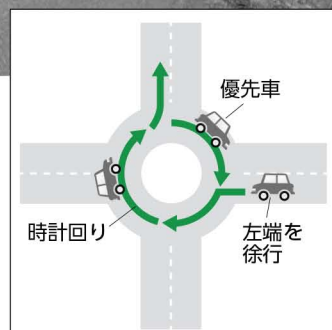
問 特養「万葉の里」前の 交差点をラウンドアバウトに

答 普及状況を注視していく

問 この交差点は過去には交通死亡事故もあり改良の要望もありましたが、県道、町道、農道が交差する6差路で、信号機等の設置もままならず現在に至っている。道路交通法の改正で定義され昨年9月より全国19か所で開催が始まった環状交差点(ラウンドアバウト)に改良することについて伺う。



特養「万葉の里」前の交差点



ラウンドアバウトのイメージ

答 環状交差点への交差点改良には、各進入路からのそれぞれの流入量が極端に偏っている場合には適していないとも言われているが、この交差点は大型車の通行がある県道からの流入量が極端に多く、複数車線と単車線とが変則的な交差をしている現状である。また、環状交差点による改良には新たな広い用地も必要である。今後、普及状況を注視し県、町並びに警察の3者での検討が必要。



内山 英作 議員

問 (仮称)集落自治会 地域活性化事業を提案する

答 地方版総合戦略策定に大切な意見
各集落の活性化手法として重要

問 今年は地方への新しい人の流れをつくる「地方創生元年」、地方版総合戦略策定の年である。そこで、竜王町で地域活性化事業を推進していく基本となるエリアは各集落自治会であり、特産品の開発・流通・販売や伝統文化継承活性化事業などを町が支援していく形が理想だが、この事業の創設についての町の考えは。

答 各集落の地域性を考え全ての集落一斉ではなく、取り組んでいく意向を示されている集落に対して積極的に関わらせてもらう。

この事業については、各集落が活性化するための手法として大変重要であると認識しており、総合戦略策定の大切な意見として承る。

問 地域おこし協力隊の募集状況と今後の対応について伺う。

答 現在、一名の応募があり選考の結果、四月一日から協力隊員として活動予定。

もう一名については継続して五月末日まで募集活動を行う。場合によっては、NPO法人「ふるさと回帰支援センター」へ出かけ、竜王町をもっと積極的にPRしたい。

問 地域おこし協力隊の 募集状況と今後

答 竜王町を積極的にPR

問 地域福祉計画の 進捗状況は

答 地域福祉

コーディネートセンターを設置

問 計画が策定される間もなく二年が経過するが、今日までの進捗状況について伺う。

答 総合相談支援体制の構築については、各相談窓口の連携強化と住民周知を一層進める。

二七年度から町社会福祉協議会に地域福祉コーディネートセンターを設置し、福祉委員会を中心とした小地域福祉活動への支援、地域のニーズ把握、行政との連携などネットワークの中心として活動してもらう。



ふれあいいきいきサロンの様子

問 町独自の 外出移動支援策は

答 引き続き
民間事業者を活用

問 NPO法人外出支援ボランティアスマイルに対する支援内容は。

竜王町独自の外出移動支援策は。

答 町からの補助金は年間50万円。これからも事業継続にあたり引き続き支援を行う。
現在、町独自の外出移動支援の活動はないが、今後も民間事業者を活用した支援を実施していく。



◀NPO法人
外出支援ボランティア
スマイルの送迎車両

問 青少年の健全育成について

答 携帯、スマホのルールとマナーを指導
いじめの対策はあらゆる方面から



竹山 兵司 議員

問 携帯・スマートフォン等の取り扱いについての指導状況、いじめへの取り組み状況について伺う。

答 町内小中学校における携帯電話・スマートフォンの所持率は小学生56%、中学生81%。授業での指導の他、外部講師をまねいた講演、PTAとも連携しながら対応している。

竜王町教育フォーラム2014では、「携帯電話・スマートフォン等を利用する時の親子の約束」を提案、宣言した。いじめについては、「竜王町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防

問 図書館の祝日の開館について

答 祝日の開館予定はない

土日の開館、毎週金曜日の夜間開館で一定のニーズに対応できており、

また、費用対効果を考えると、現在のところ当面祝日開館の予定はない。



スマホの利用についてPTAでも研修を

止やいじめへの対応を行っており、具体的には、いじめ対応支援員、小一すこやか支援員、オアシス相談員の配置、町費講師の配置によりきめこまやかな指導を推めている。さらに、養護教諭やスクールカウンセラーの活用で子供たちの悩みを積極的に受け止める体制を作っている。

問 町道認定の見直しについて

答 町の状況に即した道路網を
検討していく



菱田 三男 議員

問 県道小口川守線は道路幅も狭く、一方で並行に走っている一級路線である東西線ならびに岡屋山之上線は町道である。この2路線は交通量も多く、重要な路線である。今後、滋賀電王工業団地が操業開始すれば、さらに交通量が増え、幹線道路であるこれらの道路を維持管理するための町の負担も増えると思われる。町道認定や県道への格上げを含む、町道の見直しを検討されているか伺う。



町道 東西線



県道 小口川守線

答 県では、滋賀県道路整備マスタープランにおける政策目標を実現する道路ネットワークの形成に向け、町道を県道に昇格すること等道路の機能分類を推進するとされており、関係市町と連携して、県へ要望していくことに加え、継続して町の状況に即した道路網環境を検討していく。



たつの子議会 傍聴席から



たつの子議会を傍聴して

元竜王西小教諭 松田 宏
(現安土小)

この度、子どもたちが議員として参加した竜王町たつの子議会を傍聴させていただきました。

議場の厳かな空気の中で質問する子ども議員のみなさんの姿は、議会という場にふさわしく堂々としていました。内容についても、少子高齢化対策や今後の産業発展など、竜王町のために今議論すべき問題を挙げていて、聞いていた大人も思わず頷くような内容に私自身もとても感心しました。

また、どの子ども議員からも、自分たち竜王町民の未来を考え、よりよい町にしたいという思いが伝わってきました。

今回の竜王町たつの子議会でも議員のみなさんが描いた竜王町の更なる発展を、彼ら自らの手で実現できるよう努力してくれることを願っています。



子どもたちの立派な姿に感動!!

保護者 古澤 典子

今回、初めて子ども議会を傍聴させていただき、子どもたち一人一人の堂々とした立派な姿にとっても感動しました。

12人それぞれが、普段身近で感じている町政への疑問や要望、また、改善案や提案事項など大人顔負けの質問でした。

答弁された方々も、それを真剣に受け止め丁寧に分かりやすく答えておられました。

今の小・中学生が、町政にこれほどまでの関心があることに大変驚きました。今後、この貴重な体験を是非生かしてほしいと思います。本当にすばらしい子ども議会でした。ありがとうございました。

ご報告

去る2月に、竹山兵司議員、岡山富男議員が15年以上の在職と功勞により、全国町村議会議長会表彰を受けられました。

若者・子育て世代との懇談会を開催します

日時 平成27年5月16日(土) 19:30～
場所 竜王町公民館
テーマ 「住みやすいまちづくりに向けて」

皆様のご意見をお聞かせ下さい。
ご参加をお待ちしています。

編集後記

3月定例会中に開催した「たつの子議会」は、竜王町議会としてはじめての子ども議員の取り組みでした。子どもたちは、毎日の学校や地域での生活を通して子どもならではの視点で、一竜王町民としての将来のまちをしっかりと見据えた質問をし、私たち議員も学ぶことが多くありました。たつの子議会を通して、大人だけでなく子ども、女性、高齢者、新しく町内に住まわれる方など、声の大小に係らず全ての人の声を町政に届けられる議会でなければならぬと改めて感じました。

議会広報特別委員会
委員長 松浦 博
副委員長 内山 英作
委員 竹山 兵司
岡山 富男
古株 克彦

訃報

23年余の永きにわたって議員を務められた若井敏子議員が過日ご逝去されました。常に弱者の立場での発言や議員活動は、多くの方の支持を得ていました。議会での一般質問では、執行部に対して鋭い意見や提案を熱心にされました。その功績は、今日の「言論の府」としての議会の型の構築に少なからず貢献されました。若井敏子氏のご冥福をお祈りいたします。